

オノマトペ道徳絵本におけるシナリオの検討

A Study of Scenario for Onomatopoeia Moral Picture Book

藤野 良孝

Yoshitaka FUJINO

要 旨

本研究では、オノマトペを用いた道徳絵本の学習的な有用性に着目し、道徳教育をより円滑に学ぶためのシナリオを検討した。同時に、シナリオの表現を適切かつリアルに演出するオノマトペを提案した。シナリオ制作の第一ステップとして、幼稚園教諭 18 名に、園内で起きた道徳的な問題を最短 2 日～最長 9 日間観察してもらい、問題をフィールドノートに記述させ、KJ 法を参考に内容の整理を行った。整理された内容の中から教育的に有用なものを選定しシナリオに採用した。シナリオに付随させるオノマトペは、オノマトペ辞典、擬態語辞典を参照し情景のシミュレーションを行いながら選定した。本研究で得られたシナリオとオノマトペを用いて道徳絵本の制作を行えば、幼児により強く道徳的な問題点の気づきを促す可能性が期待される。

1. はじめに

文部科学省(2017)では、道徳教育の抜本的な充実に向けて、幼稚園～中学校で全面的に実施する方針を決めた。幼稚園では、2018 年から道徳性の芽生えと規範意識の芽生えを養う目標を取り挙げている。小学校では、2018 年度から道徳の時間を「特別の教科道徳」として位置づけ、授業を全面実施している。中学では、2019 年度から全面実施される。背景には「いじめの認知件数の増加」「子供をとりまく地域や家庭の変化」などが挙げられる。しかし、道徳授業の実施状況の受け止め(教員)において、小学校の 66%、中学校の 75%が「十分実施できていないと思う」と回答している。幼稚園での割合は示されていないが、現場では十分に実施できていないという声も聞く。さらに幼稚園では、小学校同様のいじめも起きていることから、幼・小に連絡するための道徳教材(ここでは絵本)の充実が必要であると考えられる。しかしながら、現場で生じている実態を主体にした絵本の教材は少なく、概念的、規範的な理解を学ぶものが多いと考えられるため、この点についても検討する必要がある。

1.1. 道徳教材に用いる絵本の教育的視点と効果

絵本の教育的視点として、星野(2010)は「登場人物の立場をとらえさせたり、登場人物の気持ちに寄り添わせたりする上では、道徳の時間の資料として非常に有効であると感じた。」と述べている。浜野(2015)は、「『おおきな木』は、読む者をストーリーのなかに惹き込み、様々な思いを生起させる。」と述べている。浜崎・黒田(2017)は「幼児期に絵本の読み聞かせ経験のある 98%の人々が絵本の読み聞かせには肯定的な効果があると考えている。」ことを報告している。松田(2018)は、「道徳の生命尊重の教材として「死」を扱った絵本の効果は高い。」と検証している。以上から、絵本を道徳教材に用いることは教育的にも有用であることが示唆されている。

1.2. オノマトペ道徳絵本とシナリオに関する先行研究

横田・鈴木(2018)は、「優れた物語の中で使われているオノマトペにより、子どもはオノマトペを使う表現の豊かさに触れ、自分のものとしていくことができる。そのことが、子どもの「言葉を豊か」にし、さらに「豊かな表現」へとつながるのである。」と述べている。藤野(2016、2017)は、オノマトペ絵本が法教育の興味・理解力に及ぼす影響について発表し、幼児が気づき、理解するには「シナリオ」を作成することの重要性を見出した。藤野(2018)は、「絵本を使って法教育を効果的に支援するためには、「なぜ？」という考えや思いを巡らせることが大切だと考える。」と述べシナリオの活用を推奨している。

このようにオノマトペと物語及びシナリオを融合させた絵本は、幼児が問題の情景を描きやすく豊かな表現、多様な気づきを与え、道徳教育を深く学ぶための一助になると考えられる。しかし、作成された多くの絵本は、幼稚園で起きている実態に基づくものではなく、作家や法学者の視点で代表的な内容を選定したものであるため、現場の本質的問題には深く触れていない。

1.3. 本研究の目的

そこで本研究では、①幼児の道徳的な問題(規範意識も含める。以下同様。)の実態を観察調査し、②観察調査から得られた記述内容のグループ化を図り、③グループ化した内容のシナリオとそれに付随させるオノマトペについて、検討することを目的とする。

2. 方法

2.1. 倫理的配慮の手続き

はじめに、調査協力先の園長先生に本研究の概要および幼児を対象にした調査法について説明を行った。その上で、幼稚園での研究実施にかかわる同意書(子どもの倫理的配慮、保護者への対応)にサインをもらい、園全体の協力を承諾してもらった。このため、倫理的配慮を含めて調査にかかわる内容の全てを、園長先生を介して幼稚園教諭に説明、協力をお願いした。

2.2. 調査対象者と観察記録者

調査対象者は、奈良県の H 幼稚園に通う幼稚園児であった。園児の観察記録者は、幼稚園教諭 18 名であった。

2.3. 観察の手続き

幼稚園教諭は、園内で起きている様々な道徳的問題を観察し、フィールドノーツ(fieldnotes)に書き留めた。

観察期間は、6 月 14 日～7 月 23 日にかけて行われた(表 1)。観察記録は、教諭の勤務体制に

表 1 各幼稚園教諭が園児を観察した期間

a 氏	6/14	6/15	6/19	6/21	7/2	7/11			
b 氏	6/20	6/21	6/22	6/25	6/26	6/27	6/28		
c 氏	6/20								
d 氏	6/20	6/25	6/26	6/28					
e 氏	6/20	6/22	6/25	6/26	6/27				
f 氏	6/21	6/22	6/25	6/26	6/27	6/28			
g 氏	6/21	6/22							
h 氏	6/21	6/22							
i 氏	6/22	6/23							
j 氏	6/22	6/25	6/26	6/28					
k 氏	6/26	6/27	7/2	7/4	7/9	7/10	7/11	7/13	7/14
l 氏	7/9	7/10	7/11	7/12	7/17	7/20	7/23		
m 氏	7/9	7/10	7/11	7/12	7/13	7/14	7/17	7/18	7/19
n 氏	7/10	7/12	7/13	7/18	7/19	7/20	7/21		
o 氏	7/11	7/12	7/13	7/16	7/17				
p 氏	7/11	7/13	7/18	7/19					
q 氏	7/19	7/20	7/23						
r 氏	記載なし								

応じて、最短 1 日(1 名)、次で 2 日(3 名)、3 日(1 名)、4 日(3 名)、5 日(2 名)、6 日(2 名)、7 日(3 名)、最長 9 日(2 名)に渡って行われた。1 名(r 氏)は、記載がなかったため実施期間が不明だったが、フィールドノーツの内容は詳細に記述されていたので、シナリオ制作には影響がないと判断し、除外はしなかった。全教諭のフィールドノートに書き留めた内容は、ワードファイルにまとめてもらいメールで提出を求めた。

2.4. フィールドノーツの構成

図 1 に、幼児の観察記録に用いたフィールドノーツを示す。ノーツの構成は、一番左端に「場所・対象・日時」を記載、真ん中に「道徳的問題の出来事」を記載、右隅に「教諭の介入」を記載するように指示した(表 2)。

2.5. 記録された内容の整理とシナリオ検討

フィールドノートに記載された内容は、KJ 法を参考にしながら整理を行った。

整理の過程は、次の通りである。

- (1) 記載内容ごとに小グループをつくる。
- (2) 小グループの数などを勘案して大グループをつくる。
- (3) 大グループのタイトルをつける。

絵本で用いるシナリオは、幼稚園教諭が道徳的場面で園児に対して、具体的にどのように接したのか、「中:道徳的問題の出来事」「右:教諭の介入」に記載された内容を見て、教育的に有用であるものに絞り検討した。

2.6. 絵本で使用するオノマトペ

2.5.で整理されたシナリオに付随されるオノマトペは、全て抽出・表現するとかなりの数に上るため、道徳的問題としてキーワードになる行為(口論、取り合う、押すなど)からピックアップした。

ピックアップされたオノマトペは、日本語オノマトペ辞典、日本語擬態語辞典を参照し、適切かつイメージに訴えかけるかどうかを確認した。さらに、シナリオにオノマトペを入れた全体的な流れをシミュレーションし、問題点がないかを確認してから最終決定した。

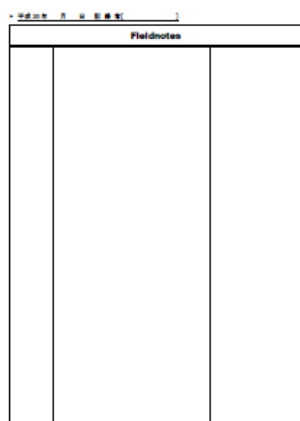


図 1 フィールドノーツ

表 2 フィールドノーツの記録内容の一例

[左]場所・対象・日時	[中] 出来事	[右] 教諭の介入 (教育した内容、意見、解釈等)
観察した場所や建物、空間などの様子を記録。	現場でおきた道徳問題、規範意識にかかわる内容を書いて下さい。また、問題の前後関係、脈略、周囲の状況も記録下さい。子どもたちが会話している場合、発せられた言葉も記録して下さい。態度なども記載ください。	出来事に対して、先生から子どもに教育したこと、注意した <u>会話のやりとり</u> を記録して下さい。会話のやりとりは、要約せずに、話した通りに記載下さい。

3. 結 果

3.1. 内容の小グループ化

フィールドノーツに記録された幼児の道徳的な問題内容について、ラベル付けを行い小グループ化した。表 3 に、小グループ化した内容の数とその割合を示す。道徳的な問題は、「口論・否定的な言葉(24)」「取り合い・うばう(22)」「押す(13)」等、計 133 内容が示された。

3.2. 内容の大グループ化

幼児の絵本の中で、記録された全内容を紹介するのは、時間的な問題などを含めて困難が予想される。そこで、小グループ化した内容から類似した内容を大グループとして統合し内容を厳選した(表 4)。

表に薄いグレーが着色された「押す(13)」「ぶつかる(7)」「たたく(7)」「噛む(5)」「踏む(3)」「はさむ、はさまる(2)」「つねる(1)」「投げる(1)」「引っ張る(1)」は、共通して身体に接触するネガティブな行為なので、統合し「乱暴的」と命名した。

濃いグレーが着色された「迷惑行為・不快行動(10)」「順番(2)」「散らかし(2)」は、比較的類似した内容であったので、統合し「ルール違反」というグループにした。斜め格子の「いたずら(4)」「触る(1)」も類似した内容として、[いたずら]に含めてグループ化した。

記録数が多かった「割込み(13)」「独占(7)」は、「ルール違反」に統合することも可能であったが、記録数や教材ニーズを踏まえて単独として扱うことにした。

表 3 小グループ化した 12 の道徳的内容とその数と割合

12 の道徳的な問題内容	数	割合
[1]口論、否定的な言葉(きらい！)	24	18.05%
[2]取り合い、うばう(片付け、玩具、ロッカー、場所等)	22	16.54%
[3]押す(トイレ、階段、整列、場所等)	13	9.77%
[4]割り込み(席、列)	13	9.77%
[5]迷惑行為・不快行動(掃除雑巾、テレビ視聴、食事(号令の前に食べる)、モノの扱い、当番、お部屋で走らない、カードをもらう等)	10	7.52%
[6]ぶつかる(室内、走る等)	7	5.26%
[7]たたく(本の取り合い等)	7	5.26%
[8]無視・話を聞かない(挨拶、先生の説明、食事等)	7	5.26%
[9]独占(玩具の独り占め等)	7	5.26%
[10]噛む(腕)	5	3.76%
[11]いたずら(水掛け、人の手にスタンプをおす、顔に息をふきかける等)	4	3.01%
[12]踏む(人、本等)	3	2.26%
[13]順番(玩具、本よみ、足洗い場等)	2	1.50%
[14]散らかし(服、スリッパ等)	2	1.50%
[15]はさむ、はさまる	2	1.50%
[16]つねる(場所とり等)	1	0.75%
[17]触る(顔)	1	0.75%
[18]おせっかい	1	0.75%
[19]投げる(ブロック)	1	0.75%
[20]引っ張る	1	0.75%
合 計	133	100%

() の中は一例を示す。

表 4 グループ化した 9 内容の数と割合

9 内容	数	割合
[1] 乱 暴 的	40	30.08%
[2] 口 論・否定語	24	18.05%
[3] 奪 　　う	22	16.54%
[4] ルール違反	14	10.53%
[5] 割 込 　　み	13	9.77%
[6] 無 　　視	7	5.26%
[7] 独 　　占	7	5.26%
[8] いた 　　ずら	5	3.76%
[9] お 　　せ 　　っ 　　か 　　い	1	0.75%

3.3. オノマトペ道徳絵本の内容数

オノマトペ道徳絵本に使用する内容の数は、幼児が集中できる時間、授業時間を踏まえつつ、著者の絵本の読み聞かせ経験を勘案して10に決定した。

3.4. シナリオとシナリオに付随するオノマトペの検討

シナリオは、提出されたフィールドノーツの中で幼稚園教諭が園児に介入した教育的内容を極力生かす形で作成、検討した。表5に、フィールドノーツに記載された教育的内容の一例を抜粋する。具体的な検討手順は次の通りであった。

＜シナリオ検討手順＞

<p>(1) 概要の確認</p> <p>↓ 「出来事」を読み、大まかな内容を確認</p> <p>(2) 内容の理解</p> <p>↓ 教員が園児へ教育指導したやり取りを理解</p> <p>(3) 内容の決定</p> <p>↓ 教育的に有益なものにフォーカスしてシナリオ化</p>

以上から、「乱暴的 (3 内容)」「口論・否定語 (1 内容)」「奪う (1 内容)」「ルール違反 (1 内容)」「割り込み(1 内容)」「無視 (1 内容)」「独占(1 内容)」「いたづら(1 内容)」まで、計 10 内容のシナリオを決定した(表 6)。

10 内容のシナリオは、作家兼法教育絵本の制作に携わった経験があるデザイナーに、教育的な意見、効果的側面、理解のしやすさについて意見をもらい妥当性を確認した。10 内容のシナリオの中で表現されるオノマトペの作成は、オノマトペの専門家がシナリオ概要下線部のキーワードを核に、園児に道徳意識を醸成させることを促すオノマトペを提案した。提案にあたり、オノマトペ辞典、擬態語辞典を参照し、情景のシミュレーションを行い作成した。

表 5 フィールドノーツに記録された出来事の概要とそのシナリオ

<p>◎階段 3 歳児 (15:25)</p>	<p>・保育室から 1F へ下りている際、前を歩いている Y ちゃんが遅いと感じたのか、S くんが背中を押した。</p> <p>Y ちゃんは驚いて後ろを振り返った。</p> <p style="text-align: center;">↑</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 0 auto;">(1) 概要の確認</div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 0 auto;">(2) 内容の理解</div> <p style="text-align: center;">→</p>	<p>保)「S くん、何するの！！後ろから押したらどうなるの？」</p> <p>S)「落ちる」「ケガする」</p> <p>保)「落ちて、ケガするかもしれないよね。もしかしたら、死んで会えなくなるかもしれないよ？それでもいいの？」</p> <p>S)「ダメ！嫌だ！」</p> <p>保)「そうだよね。それなら、もし遅くても待っててあげないと。」</p> <p>待ってあげられる方が格好良いんだよ？」</p> <p>S)「はい。ごめんなさい。」</p> <p>Y)「いいよ。」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 0 auto;">(3) 内容の決定</div>
---------------------------------	---	--

表 6 10 の道徳的内容のシナリオ概要とオノマトペ表現の一覧

内 容	シナリオの概要	オノマトペ
乱 暴 的	保健室から1階へ戻るとき、Sくんは、速いテンポで階段を降りる。	とん とん とん とん
	Sくんの前にいるYちゃんは、Sくんよりも階段をゆっくり降りている。	とーん とーん とーん とーん
	Sくんは、Yちゃんの階段を降りる遅さに苛立っている。	いらいら
	ついにSくんは、我慢できずに <u>Yちゃんの背中を押した。</u> Yちゃんは、突然のことに驚いてふり返って後ろに振りむいた。	かーっ どーん くるっ
乱 暴 的	遊びの時間、皆が遊んでいる部屋で走っているAさん。	だっだっだっだっ
	Aさんは、 <u>遊んでいる友達にぶつかってしまう。</u>	ぼん
	ぶつかった子が倒れる。	ばたん
	「あぶない」どうにかケガをしないですんだ。	ひやひや
乱 暴 的	着替えの場で二人が、ロッカーのとりあいをしている。	ぐいぐいぐいぐい
	Iくんがどいてくれないから、 <u>思わず手をだしてしまった。</u>	ぼしっ
	気まずい雰囲気になってしまう。	ぎすぎす
口 論	遊びの時間、AさんがBくんのいる場所に近寄ってくる。	てくてくてくてく
	Aさんが指先でBくんを軽くつつつき、「あそぼ」と声をかける。	つんつん
	だが、 <u>Bくんは「いやだ」と頭を横にふる。</u>	ずげずげ ぷいぷい
	Aさんは悲しい気持ちになる(静かに泣く)。	しくしく
奪 う	朝の遊び時間、AちゃんがBちゃんの場所に早歩きで向かってくる。	たったったったっ
	Aちゃんは、Bちゃんの <u>玩具を何もいわずに奪い取る。</u>	ぼっ
	Bちゃんは、ショックで心が深く傷ついている。	がっくり ずたずたずたずた
ル ー ル	食事が終わる頃。みんな、お腹いっぱいだなあ。	もぐもぐ ぷはーっ
	それでは、みんなで手をあわせて「ご馳走様でした」の挨拶をしよう。	びたっ
	すると・・・Aくんが <u>自分勝手に机の下に入りこみ遊びはじめてしまう。</u>	ふーん すっ
	机に頭を打って怪我をする。	ごん
割 込 み	皆がトイレの列に並び「トイレまだかなあ」と待ちぼうけしている。	そわそわ
	Cちゃんが、 <u>列に並んでいたAちゃんの前へ勝手に入り込んできた。</u>	ずかずか さっ
	Aちゃんは、Cちゃんの勢いに圧倒されてひるんでしまった。	たじたじ
無 視	学習時間、Mちゃんが、頑張って文字を書く練習をしています。	かりかりかりかり
	Mちゃんが文字活動中、AちゃんがMちゃんの机に当たった。	どかっ ひゅーっ
	机から鉛筆と消しゴムが落ちる。	ぼたぼた
	<u>Aくんは何事もなかったかのようにとぼけている。</u> Mちゃんは怒りつつ、その感情を抑えながら鉛筆と消しゴムを拾った。	しれしれ ふーん ぐっ
独 占	遊びの時間になると、ある一人の子が、電車の玩具や車の玩具、ブロックの玩具などをたくさんとり、 <u>独り占めをしている。</u>	ごそ〜っ
	「楽しそう」と思ったMさんも玩具で遊ぼうと玩具箱を見渡すも、1つも玩具がない。「玩具で遊べない・・・」と、Mさんは悲しい気持ちになる。	ちらっちらっ しょんぼり
い た ず ら	プールの時間、K,Rちゃんがプールの中に入る。	ざぶん
	バタ足の練習で、Rちゃんが <u>Kちゃんの顔の方に向けてバタ足をして水をかけている。</u>	ばしゃばしゃばしゃばしゃ
	Kちゃんは顔に水が入って苦しんでいる。	あっぷあっぷあっぷ

4. 総合考察

道徳的な問題が記述されたフィールドノーツの内容を整理・考察し、次のことが分かった。

フィールドノーツの記録をグループ化した結果、「押す」「ぶつかる」「たたく」「噛む」「踏む」など、とりわけ身体にダメージを与えるネガティブな行為(30.08%)が1番多かったことから、乱暴的な行為が道徳的な問題として顕著であることが示された。幼児は、自分のしたいことが相手に上手く伝わらない、思うようにいかないことがあると、どう表現したらよいか分からずに乱暴を働いてしまうことが推察される。問題を発見した教諭は、相手に明確に伝わる表現をしっかりと示し、理解させる指導が求められるだろう。

次いで、口論や否定語(18.05%)を発する幼児が多く観察されており、気持ちの整理や感情の抑制ができない、心の不安定さが言葉に反映されている可能性が考えられる。これについては、幼児のコミュニケーションモデルとなっている保護者および幼稚園教諭の日頃からの言動に、問題点はないか、改めて見直すことが大切だと考えられる。また、「奪う」という行為(16.54%)の観察数も多く、幼児は「自分のものである」という所有意識が強く働き、奪うという行為に走ってしまった可能性が考えられる。自分のものではなく、皆のものであるという線引きを教えることの重要性が窺える。以上の3点は、全体の半数(64.66%)を超えたことから、絵本を通して仲間にしてしまう問題行為の認知と危険性の理解を一層促す必要があるだろう。

道徳絵本に採用するシナリオは、フィールドノーツの記録から幼稚園教諭が園児に介入した教育的、指導的内容から10内容を選定した。このシナリオでは、どこで誰が何を、どうなったのかを段階的に展開していることから、幼稚園教諭は読み聞かせを行う際、道徳的な問題に至るまでの経緯、危険の認識、やってしまった子・やられた子の心情、解決策などを話の流れの中から、幼児に問いかけすることが円滑になると考えられる。シナリオで表現される「どーん」「ばしっ」「しょんぼり」などのオノマトペは、話の理解を促すだけでなく、その独特な音の響きからインパクトを与え、該当者には問題点の記憶の換気やしてはいけない意識の醸成に寄与することが期待される。

5. まとめ

本研究では、オノマトペ道徳絵本を円滑に学ぶためのシナリオを検討するために、幼稚園教諭18名に幼児の道徳的な問題を観察してもらい、問題点をフィールドノーツに記載してもらった。回収したフィールドノーツの記述は、(1)KJ法を参考に道徳的問題をグループ化、(2)シナリオの検討、(3)シナリオを効果的に演出するオノマトペの検討を行い、次のような結果を得た。

[1] フィールドノートに記載された内容は、KJ法を参考に整理し、「乱暴的」「口論・否定語」「奪う」「ルール違反」「割込み」「無視」「独占」「いたずら」「おせっかい」の9つに厳選した。特に、乱暴が多く記録され、幼児は相手に自分の気持ちや意図をどう表現したらよいか分からず、乱暴という誤った行為をしてしまう可能性が考察された。

[2] 絵本のシナリオは、幼稚園教諭が園児の道徳的問題に対して、教育指導した内容を検討し、どこで誰が何を、どうなったのかを段階的かつ円滑に学ぶことができる10内容を選定した。

[3] シナリオに付随させるオノマトペは、オノマトペの専門家がフィールドノーツのシナリオ概要と内容、

辞典を参照しながら、実際の読み聞かせ場面をシミュレーションし、現場のイメージが喚起される音を選んだ。今後は、本研究で得られた知見を踏まえながら、オノマトペ道徳絵本の制作ならびにオノマトペオーディオブックの開発を進めてゆく計画である。

謝 辞

本研究の一部は、JSPS 科研費 JP 18K02839 の助成を受けたものです。フィールド調査にご助力いただいた幼稚園の園長先生、諸先生方に厚くお礼申し上げます。オノマトペ道徳絵本について、数々の助言をいただいた朝日大学法学部教授・平田勇人先生、作家・デザイナーの三角芳子先生にお礼申し上げます。

参考文献

- [1] 藤野良孝、平田勇人、三角芳子 (2016)ぶつぶーっ, ミスミヨシコ
- [2] 藤野良孝(2017)オノマトペ絵本が法教育の興味・理解力に及ぼす影響. 経営実務法学会(大阪リバーサイドホテル)
- [3] 藤野良孝(2018)幼児の法教育支援を目的としたオノマトペ絵本の開発と評価,経営法学研究第 20 号 29-41 日本経営実務法学会
- [4] 五味太郎(2010)日本語擬態語辞典. 講談社+アルファ文庫;東京
- [5] 浜野兼(2015)一絵本のストーリーを題材にした道徳の授業 『THE GIVING TREE(邦題「おおきな木」)』by Shel Silverstein を手がかりとして. 児童文化研究所所報 (37) 69-74.上田女子短期大学児童文化研究所
- [6] 浜崎隆司、黒田みゆき(2017)絵本の読み聞かせがその後の人生に及ぼす影響—— テキストマイニング法を用いて ——鳴門教育大学研究紀要 第 32 巻 86-92
- [7] 星野祐樹(2010)道徳 道徳的実践力を高めるための授業展開——絵本とモラルスキルトレーニングを活用した学習指導の有効性,教育実践研究 20, 199-204 上越教育大学学校教育研究センター
- [8] 松田智子(2018)絵本を活用した道徳教育の試み—絵本『死んでくれた』を通して—人間教育 1(5)149-156
- [9] 文部科学省(2017)道徳教育の抜本的充実に向けて. 文部科学省 初等中等教育局 教育課程課
参照日(2019.3.3):https://doutoku.mext.go.jp/pdf/h29_block_training_materials.pdf
- [10] 文部科学省(2016)「道徳」の評価はどうなる?? 参照日(2019.3.3)
http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/_icsFiles/afieldfile/2017/05/25/1379579_001.pdf
- [11] 小野正弘(編)(2011)日本語オノマトペ辞典. 小学館;東京
- [12] 横田由紀子、鈴木ゆみこ(2018)豊かな言葉や表現につながる絵本の選択について—オノマトペ絵本を中心に—札幌大谷大学紀要(48)91-102

藤野 良孝(保健医療学部健康スポーツ科学科准教授)